

評価方法

評価項目			評価方法		
大項目 (配点)	小項目 (配点)				
温室効果ガス (10点)	温室効果ガス発生量 (10点)	合計	工事中 (廃棄物運搬車両由来, 工事現場由来) / 供用中 (収集運搬車両由来, 重機由来, 浸出水処理施設由来)		
			温室効果ガス発生量を相対値に変換*した上で, 0.05 ずつに区切って 10 程度の評価ランクで評価 ※相対値に変換: 変数/平均値		
生活環境 (20点)	住宅との距離・住宅数 (4点)		A: 500m 以内に住宅がない	B: 500m 以内に住宅が少ない	C: 500m 以内に住宅が多い
	公共施設等 (学校・病院等) との距離・施設数 ^{注1)} (4点)		A: 500m 以内に公共施設がない	B: 500m 以内に公共施設が少ない	C: 500m 以内に公共施設が多い
	搬入道路周辺住宅数 (4点)		A: 搬入道路 (公道～施設) に接する住宅がない	B: 搬入道路 (公道～施設) に接する住宅が少ない	C: 搬入道路 (公道～施設) に接する住宅が多い
	1km 圏内の廃棄物処理施設等の有無 (4点)		A: 1km 以内に施設がない	B: 1km 以内に 1 施設あり	C: 1km 以内に 2 施設以上あり
	住居系用途地域との距離 ^{注2)} (4点)		A: 住居系用途地域から 500m 超	B: 住居系用途地域から 250～500m	C: 住居系用途地域から 250m 以内
自然環境 (20点)	自然の改変度 (5点)		A: 候補地内の植生自然度 1～3	B: 候補地内の植生自然度 4～6	C: 候補地内の植生自然度 7～10
	植生, 動物等への影響 (5点)		A: 候補地内に貴重な動植物の生息が確認されていない		B: 候補地内に貴重な動植物の生息が確認されている
	河川類型 (5点)		A: 下流側河川の河川類型 B		B: 下流側河川の河川類型 A
	農業水源との距離 (5点)		A: 下流側 3km 以内に取水口がない	B: 下流側 1～3km に取水口あり	C: 下流側 1km 以内に取水口あり
建設維持管理 (20点)	建設維持管理費 (20点)	合計	工事費 (建設工事費, 搬入道路工事費, 下水道工事費) / 維持管理費 (埋立地維持管理費, 浸出水処理施設維持管理費, 下水道使用料) / 収集運搬費		
			建設維持管理費を相対値に変換*した上で, 0.05 ずつに区切って 10 程度の評価ランクで評価 ※相対値に変換: 変数/平均値		
法令規制 (10点)	法令規制地 (10点)		A: 特別な規制がない	B: 軽微な手続きを要する規制がある (法規制ランク A: 市街化調整区域, 農地・採草放牧地等)	C: 手間のかかる手続きを要する規制がある (法規制ランク B: 民有林, 農用地区域等)
環境教育・跡地利用 (10点)	アクセス性 (5点)		A: 市街地から 5km 以内	B: 市街地から 5～10km	C: 市街地から 10km 超
	利用の多様化可能性 (5点)		A: 10ha×1.4 以上の平坦地が確保できる	B: 10ha×1.2～1.4 の平坦地が確保できる	C: 10ha×1.0～1.2 の平坦地が確保できる
用地 (10点)	土地利用状況 (5点)		A: 荒地	B: 山林	C: 農地
	用地取得の容易性 (5点)		A: 公有地	B: 私有地 (地権者が少ない)	C: 私有地 (地権者が多い)

注 1) 指導要綱における「原則として, 文教施設, 医療福祉施設から概ね 500 メートル以上離れていること」を準用。

注 2) 指導要綱における「原則として住居系用途地域から概ね 500 メートル以上離れていること」を準用。

注 3) 「多い」「少ない」など定量的な評価基準を定めていない項目は, 評価値の分布状況を勘案して相対的な基準を設定します。